

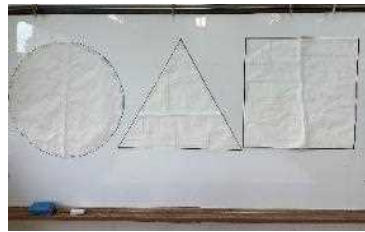
教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
○△□の弁別	高	合科 Ⅱグループ (数学)	

<ねらい>

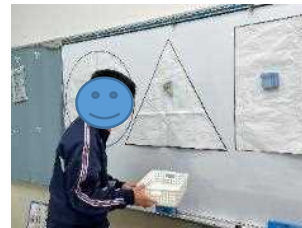
- ・○△□を同じ形同士選び、分類することができる。
- ・それぞれの形の違いに気付き、違いを見比べながら分類することができる。
- ・日常生活場面にあるものの形の形に興味をもち、○△□で分類することができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ・授業では、教師と同じ形を選ぶ→手元で形あわせ→黒板で分類の流れで使用した。



↓手元用教材



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・○△□の具体物は色を統一し、形だけに着目させながら取り組ませた。
- ・具体物は視覚的にわかりやすく操作しやすいように厚みのあるものにした。
- ・生徒の実態に合わせて、形の個数の違うラミネートを使い分けた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・ホビー用ポリスチレンフォーム(100均)